

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

平成30年2月1日

新年賀詞交歓会を開催

一般社団法人電池工業会は、平成30年1月12日、東京プリンスホテルにて「平成30年新年賀詞交歓会」を開催した。また、これに先立ち別会場にて「平成29年度優良従業員表彰式」を実施した。



一般社団法人電池工業会 田村会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。
新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日頃より、電池業界へのご理解と発展に、ご厚情を賜っております関係各位に、心より御礼申し上げます。

昨年は、年初のアメリカのトランプ大統領の就任が象徴していますように、世界の情勢は、まさに激変の



年となりました。なかでも、一昨年の12月に採択されましたパリ協定に、アメリカが自国の経済に不利になることを理由に離脱を表明したことが印象に残りました。パリ協定では、各国が温室効果ガスの排出削減目標を維持する義務と、当該削減目標を達成するための国内対策をとる義務を負っております。日本の目標は、2030年に2013年の水準から26%削減することです。

そのような中で、電池は持続可能な社会に向けて鍵を握るデバイスでございます。今後、車載用電池と電力貯蔵用蓄電池の重要性は増し、一層の市場の拡大が見込まれております。

自動車につきましては、環境・燃費規制が大変厳しくなり、電動車への移行が加速しております。これを可能にするのは、安全で高い性能の電池であることは間違いありません。

また、電力貯蔵用途では、再生可能エネルギーの導入および普及を、各国が促進しており、日本も経済産業省が2030年度に全体の約20%を再生可能エネルギーで賄うことを目標に掲げております。普及に伴い電力系統が不安定化するため、電力の需要量と供給量を調整する定置用大型蓄電池が不可欠となってまいります。

産業の構造も自動車の電動化によりエレクトロニクス比率が高まり、自動車メーカーの垂直統合型から専門性をもつデバイスメーカーなどとの水平分業型へ移行することも考えられます。特に、電池は高い専門性が必要ですので、これから電池業界の重要性は益々高まってくるものと確信しております。

電池工業会は、1997年に、社団法人日本蓄電池工業会と社団法人日本乾電池工業会が統合し発足してから、昨年20年の節目を迎えました。これからの20年は、これまでとは比べものにならないほど変化の激しい時代になると思っております。

そうした中で、電池事業は、持続可能な社会を実現する大義ある事業であるとともに日本の戦略事業であります。今後、グローバルでの材料・内部構造・大容量化などの開発競争が熾烈化することは間違いありません。この競争の中で、最も重要なのは、「安全性」であり、「信頼性」であることを肝に銘じておく必要があります。

電池工業会では、業界の健全な発展に向け、電池関

連の国際規格化や政府への政策提言をおこなってまいります。今後とも、関係省庁ならびに関係の皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員会社様の益々のご発展と、ここにお集まりの皆様方のご健勝を祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。どうもご清聴ありがとうございました。

経済産業省商務情報政策局デバイス・情報家電戦略室長 兼 環境リサイクル室長 田中伸彦 様 へ挨拶



本日は、電池工業会の賀詞交換会にお招きをいただき感謝申し上げます。平素より経済産業行政への協力、リサイクル活動、国際規格化などの製品安全の為の普及・開発および啓蒙などの様々な取り組みに対してご尽力いただきまして感謝申し上げますとともに益々その点に期待申し上げます。

目下の経済状況ではありますが、年末の株価、求人倍率、GDPが順調に伸びている中で企業業績も最高水準に達しております。こういう中で、今経済産業省がどのようなところに注目しているかと申し上げますと、皆様ご案内のとおり、新聞・ニュースをみてもビッグデータ、AI、Iot、こういうキーワードを聞かない日はないと思います。

第四次産業革命というものが将に進んでいる中で、新しい社会をどうやって産業界と切り開いていくか、その為に産業界が目指すべき姿というものについて、昨年の3月になりますが、世耕経済産業大臣がド

イツに行きましてコネクテッドインダストリーズという考えを世界に向けて発表しております。人と人、物と物、あらゆるものを繋げていくのですが、これらが大体電気につながっておりまして、そういう意味で電池を蓄める、電気を作るというところにおけるキーデバイスである電池によって支えられている、それによって社会が動いているものと思います。

そういう皆様の努力をどうやって我々が支えていくのかにつきまして、来年度の政策になりますが、IoT、設備投資などに積極的な企業には、最大20%の法人税負担を下げる仕組みの導入をやってまいります。また、新しい技術が入ってきているという中でリカレント教育というものをもう一度見直すべきではないかと考えております。リカレント教育、産業界の方がもう一度大学で学んでいくという機会の導入というものを産業界とともに推進していきたいと考えております。

また合わせて水平分業化の話がございましたが、専門化が集約していくなかで、逆に新しい柔軟な働き方、様々な働き方の柔軟性との整合性が求められてくると思います。副業や兼業の自由、ある意味柔軟な新しい働き方の導入については、ここにおられるリーディングカンパニーの皆様の積極的なご協力をいただければと思います。

先ほど会長から電池は持続的社會を作る為の必須のデバイスであるとともに成長している戦略物資、戦力産業であるというお話がありました。

またエネルギー対策、温暖化対策としてCO2の排出を減らすことを目指す中、どうしても化石燃料に頼らなければいけない中で、定置型の電力用の蓄電池というようなものが必要とされてくる。こうした環境の中で、たとえば先ほどEVの話がございました。まさにこれから国際的な設備投資競争が始まるという中で、どのような支援の形が作れるのかということも考えていきたいと思っております。

また合わせて市場拡大の中でさらに付加価値を高め、さらにそれを標準化していく中で、収益力の

向上を図っていくことが是非とも大事な事となっております。そうしたことに対して皆様のご努力を期待したいと思います。

そういう中で、我々も技術開発につきましては、継続的に研究開発を取り組んでまいりたいと存じますし、ゼロエネルギーハウスの導入支援でありますとか、火力系統全体のある種バーチャルなパワープラントを蓄電池も含めて作っていく事なども考えていきたいと思っております。それから当然次世代の自動車の普及といったものの為の様々なファシリティーの導入支援を行っていききたいと思います。

通商の世界で申しますと、日欧EPAでまさに電池の部分において関税の撤廃されるが合意されております。幅広い交渉の自由貿易協定のなかで妥結しておりますし、まさにその19年春の発効を引き続き取り組んでまいります。

爆発的な需要と設備投資が始まるなかで、リチウムイオン電池につきまして資源の確保、それをどのように有効に使っていくかという観点が今後非常に重要になっていくものと思います。小型二次電池については、リサイクルを積極的に進めていただいていることを承知しております。リサイクルと回収はますます重要なものになってくると思います。

あわせて会長から先ほど安心・信頼性と言う話がございました。たとえば輸入品でモバイルバッテリーが発火をしたりする事象も起きております。海外の粗悪品が入ってこないような規制の動きなどにつきまして皆様ご安全で安心できる製品がきちんと認識され、届けられることにつきましてそういったことへの努力を念頭におきまして議論をすすめてまいりたいと思っております。今後とも皆様ご協力・ご提案を受けて引き続き課題解決にとりくんでいきたいと思っております。

最後になりますが、厳しい国際環境、競争が激化する中で、拡大する需要・拡大する製品に求められる必要性などを日本の電池業界の皆様がうまく取り込みま

してここにおられるます皆様が、ますますの発展を遂げられることを祈っております。本日ご来席の皆様の益々のご健勝を記念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。本日は、おめでとうございます。

引き続き乾杯の音頭は、千歳副会長が務め、会は活況を呈した。賀詞交歓会は、正・賛助会員各社、関連企業、関連団体などの関係者約350名の出席を得て、終始活発な雰囲気で行われ、村尾副会長による中締めで盛会裏に終了した。



優良従業員表彰

新年賀詞交歓会に先立ち、平成29年度優良従業員の表彰式が行われ、田村憲司会長より各受賞者に賞状と記念品が授与されました。

今回受賞の榮譽に輝いたのは、次の13社17名の方々です。

優良従業員表彰

滝澤 圭介 (エナックス株式会社)	城所 泰行 (東芝電池株式会社)
八木沼 昭 (NEC エナジーデバイス株式会社)	下向 秀一郎 (パナソニック株式会社)
小川 均 (FDK株式会社)	小川 孝文 (パナソニック株式会社)
村上 行由 (FDK株式会社)	栗山 嘉朗 (日立化成株式会社)
荻野 裕司 (株式会社GSユアサ)	福田 昌弘 (古河電池株式会社)
野村 公志 (株式会社GSユアサ)	桑 忠弘 (マクセルホールディングス株式会社)
夏目 秀樹 (株式会社GSユアサ エナジー)	大槻 眞司 (株式会社村田製作所)
岡崎 俊夫 (セイコーインスツル株式会社)	中村 一郎 (株式会社村田製作所)
関根 直明 (東芝インフラシステムズ株式会社)	





「2017 プロ野球最優秀バッテリー賞」表彰式

今年で27回目を迎えた「2017 プロ野球最優秀バッテリー賞」(主催:スポーツニッポン新聞社、協力:一般社団法人電池工業会)の表彰式が、平成29年12月14日(木)、東京都文京区の東京ドームホテルで開催された。

今年で27回目を迎える本賞は、投手だけでなく、日頃は縁の下の力持ち的な存在の捕手にもスポットライトを当て、最強の「バッテリー」を表彰するもの。投手はローテーションの軸として、あるいは抑え投手としてシーズンを通して活躍したことが最低条件とされている。また、捕手はインサイド・ワーク、盗塁阻止率の高さ、捕逸の少なさなどが条件となる。

今回の最優秀バッテリー賞は、セ・リーグからは読売巨人軍の菅野智之投手と小林誠司捕手、パ・リーグからは埼玉西武ライオンズの菊池雄星投手と炭谷銀仁朗捕手の両バッテリーが受賞した。今回は、小林捕手

と菊池投手が初受賞だった。

「バッテリー」つながりで創設以来本賞の開催に協力している電池工業会からは、プレゼンターとして清水専務理事が出席し、各受賞選手にカーバッテリー1個の引換証と乾電池320本の目録を贈呈した。なお、受賞選手4名のうち、埼玉西武ライオンズの菊池投手は、都合により出席できず、ビデオメッセージでの出席となった。

表彰式の模様は、当日の夕方および翌朝のニュースおよびスポーツニュースと翌日付けの各新聞・スポーツ新聞などで報道された。



写真提供:スポーツニッポン新聞社

「セーフティグッズフェア」に参加

東京都と特定非営利活動法人キッズデザイン協議会が主催する「セーフティグッズフェア」に、啓発パネルや誤飲防止に配慮した新パッケージに入ったボタン電池などを展示し、消費者への注意喚起と理解を求めた。

セーフティグッズフェアは、乳幼児・小学生の親子連れを対象に東京都とキッズデザイン協議会が開催するイベントで、安全に配慮した製品の展示と安全をテーマにしたセミナーの開催を通じ、保護者と子供に対して、安全に配慮した商品情報、商品・サービスに関する危害・危険についての情報を発信することなどにより、安心な商品市場の実現、および子供の消費生活による危害・危険被害の防止を図ろうとするものです。

◆写真は1/20(土)京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター A館アウラホールにて撮影



「電池は正しく使いましょう」 PRキャンペーン終了しました

平成29年度電池月間キャンペーンイベントの「電池は正しく使いましょう」PRキャンペーンクイズは、平成29年11月11日～12月31日にかけて実施いたしました。キャンペーン期間中、雑誌、ホームページ等で広くキャンペーン内容を告知した結果、全国各地より多数の応募がありました。

キャンペーン広告は、①未使用・使用済みのボタン電池は、子供の手の届かない場所に保管 ②電池交換は、子供の目にふれないところで行なうなどからなる4項目にわたる「コイン形電池・ボタン形電池の乳幼児の誤飲防止」に関するものと「電池の安全で正しい使い方」についてPRする内容で、期間中に寄せられた応募は、17,555通にのぼりました。

厳正なる抽選の結果、10万円分の旅行券は、M・O様（大阪府）、T・S様（福岡県）、K・K様（沖縄県）の3名の方が、1,000円分のQUOカードは、M・Y様（兵庫県）をはじめ100名の方が当選されました。

平成30年 1月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	12日(金)	平成29年度優良従業員表彰	正会員各会社の優良従業員を表彰。
	12日(金)	平成30年新年賀詞交歓会	経済産業省より来賓をお迎えして、賀詞交歓会を開催。
	17日(水)	第213回講習実施委員会	高知県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
	19日(金)	広報総合委員会	来年度の事業計画審議、電池月間PRキャンペーンの当選者抽選、でんちフェスタの反省、みらいのでんちアイデアコンテストの内容検討、他。
	25日(木)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、来年度の事業計画審議、他。
	26日(金)	工場環境委員会	省エネ状況、ISO14001更新審査等の情報共有。
二次電池部会	15日(月)	自動車鉛分科会	JIS D 5301規格の改正審議、他。
	17日(水)	据置鉛分科会	JIS C 8704-2規格の改正審議、他。
	18日(木)	産業電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	19日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
	19日(金)	充電器分科会	SBA S 0903規格の改正審議、他。
	23日(火)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
	26日(金)	PL委員会	二輪車用LIB 誤使用による事故防止検討、他。
二次電池第2部会	10日(水)	法規WG	蓄電池システムの規制検討。
	11日(木)	車載LIB-WG	非駆動用LIBのIEC規格策定
	15日(月)	リチウム二次分科会	IEC62133-2改正提案への対応、JIS C 8712改正案審議、他。
	16日(火)	据置LIB分科会	IEC規格対応、JIS規格改正対応。
	18日(木)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	19日(金)	蓄電システムWG	認定の手引き改定の検討。
	22日(月)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	23日(火)	大形カスタムWG	大形蓄電池システムの普及促進検討。
	25日(木)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。
	26日(金)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。
	30日(火)	LIB安全性技術WG	内部短絡試験に関する技術検討。
	31日(水)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS原案作成・審議。
一次電池部会	10日(水)	リチウム小委員会	IEC60086-4の検討、リチウム電池輸送規制対応、他。
	11日(木)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、他。
	16日(火)	環境規格WG	IEC 60086-6 CD案に関する審議。
	18日(木)	ボタン電池回収推進委員会	来年度の事業計画審議。
	23日(火)	誤飲対策セルWG	評価手法等のまとめ(評価方法のIEC規格化、詳細検討)。
	26日(金)	環境規格WG	IEC 60086-6 CD案に関する審議。
	26日(金)	資材委員会	2018年度の事業計画の審議。
	29日(月)	消費者委員会	2018年度の事業計画の審議。
30日(火)	リチウムコイン二次電池国際規格WG	IEC61960-4 2nd CD案、パリ会議(3月)での説明資料審議。	

11月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2017年11月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	434,773	84,100	99%	107%	4,270,814	801,597	102%	105%
一次電池計	262,323	10,214	98%	99%	2,560,405	90,279	102%	102%
酸化銀電池	66,189	1,049	102%	100%	771,705	12,568	109%	106%
アルカリ乾電池計	110,281	5,705	85%	89%	883,153	41,746	95%	98%
単 三	×	×	×	×	×	×	×	×
単 四	×	×	×	×	×	×	×	×
その他	19,141	1,675	94%	94%	142,412	11,518	103%	101%
リチウム電池	85,853	3,460	117%	121%	905,547	35,965	105%	106%
二次電池計	172,450	73,886	100%	109%	1,710,409	711,318	101%	106%
鉛電池計	3,197	18,681	104%	109%	29,223	167,479	104%	107%
自動車用	2,539	12,592	107%	113%	22,130	106,664	104%	109%
その他の鉛蓄電池	658	6,089	96%	102%	7,093	60,815	101%	103%
アルカリ蓄電池計	43,829	15,767	96%	104%	472,755	162,690	96%	98%
ニッケル水素	38,572	14,744	95%	104%	428,068	152,334	99%	99%
その他のアルカリ蓄電池	5,257	1,023	106%	99%	44,687	10,356	74%	91%
リチウムイオン蓄電池計	125,424	39,438	101%	110%	1,208,431	381,149	104%	109%
車載用	74,704	24,125	105%	104%	705,873	242,630	125%	115%
その他	50,720	15,313	96%	122%	502,558	138,519	84%	99%

11月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2017年11月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	215,820	46,948	97%	111%	2,441,236	480,439	101%	113%
一次電池計	87,124	2,611	107%	130%	1,095,665	29,077	104%	111%
マンガン	0	0	10%	18%	2	5	77%	28%
アルカリ	5,224	110	202%	258%	42,742	860	96%	113%
酸化銀	40,210	545	105%	128%	524,187	6,335	110%	114%
リチウム	41,681	1,794	104%	120%	527,767	20,756	100%	107%
空気亜鉛	0	0	—	—	930	10	96%	88%
その他の一次	10	162	15%	532%	38	1,109	10%	205%
二次電池計	128,696	44,336	91%	110%	1,345,571	451,362	99%	114%
鉛蓄電池	204	1,520	116%	120%	1,989	14,377	106%	118%
ニカド	2,951	288	124%	128%	20,314	2,049	61%	74%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	1	318%	582%
ニッケル水素	9,244	7,116	70%	102%	143,032	74,471	90%	115%
リチウムイオン	105,931	25,308	91%	95%	1,090,997	263,113	100%	103%
その他の二次	10,366	10,105	111%	197%	89,240	97,351	113%	157%
全電池合計（輸 入）	152,723	19,426	93%	139%	1,304,348	152,395	101%	109%
一次電池計	144,015	2,478	92%	105%	1,218,283	20,838	101%	108%
マンガン	18,476	238	106%	119%	154,045	1,753	97%	105%
アルカリボタン	3,811	25	107%	110%	30,839	228	94%	92%
アルカリその他	104,515	1,381	92%	92%	841,068	11,443	102%	104%
酸化銀	133	4	39%	52%	1,251	42	49%	63%
リチウム	13,863	594	93%	121%	138,831	5,683	104%	113%
空気亜鉛	3,144	60	47%	53%	51,987	938	86%	95%
その他の一次	74	177	16906%	1098%	261	751	166%	230%
二次電池計	8,708	16,947	101%	145%	86,065	131,557	103%	109%
鉛蓄電池	769	3,503	103%	112%	7,470	32,811	108%	111%
ニカド	82	212	325%	176%	785	1,856	80%	119%
ニッケル鉄	0	0	—	—	7	6	1830%	620%
ニッケル水素	1,951	452	90%	109%	21,116	4,529	99%	97%
リチウムイオン	5,701	11,588	103%	170%	55,403	80,199	108%	110%
その他の二次	206	1,192	148%	99%	1,284	12,157	47%	102%